

サンセイランディック関西便り Vol.71

平成30年3月号

サンセイ ニュース

初春の日差し麗らかなころ、ようやく寒さも緩んでまいりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

巷では、新生活に向けた引っ越しシーズンが到来し、業者の人手不足が深刻となり「引っ越し難民」と呼ばれる人たちが続出しているようです。普段であれば見積もり依頼のひとつも出せば、いろいろな業者から回答が押し寄せるはずですが、まさかの見積もりお断りということもあるということです。どうか皆様が無事にお引越しできますように。

3月といえば多くの会社が決算を迎える1年でもっとも忙しく大変な時期です。サンセイランディックは12月決算ですが、色々な方とお話しをしていると多くの不動産業者は3月決算が多いように思います。平成26年度の国税庁が出している統計データによると決算時期を3月にしている企業は割合にして19.49%という結果が出ており、次に多いのは9月決算、その次に多いのは12月決算です。私達不動産業界や日本では3月決算がすごく多い印象がありますが、数字で見ると意外にも20%位と少ないのでびっくりしました。

なぜ、決算日を3月にする会社が多いのか少しお話させていただきます。

理由としてよく挙がるのは国や地方公共団体の会計年度に合わせるため、大学、学校等の国の教育制度に合わせるため、税法の改正に適應するため、総会屋対策などです。このなかで、税法の改正の適用に関しては、4月1日からとされるものが多いのは事実。会計制度の途中で、経理処理を変更するのは大変なので、税法の適用時期と会計期間をあわせる、はたまた、3月決算法人が多いから4月1日から適用される規定が多いのか…

といった理由が何個か出てきています。逆に3月決算にすることによるデメリットの部分もあります。

例えば、3月は業務が集中するので忙しい、会計事務所も忙しいので決算の手間や割高な料金が生じる、気忙しいなどの部分もあります。こういうのを改めてみると、特に3月でなくても良いのかなと感じられました。少しどころか長々と今回は決算について書いてみました。

今後もサンセイランディックでは皆様のお役に立てるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。

皆様、何卒宜しくお願い致します。

社員の 独り言

私には今年の4月で7歳になる息子がいます。この3月で幼稚園の卒業を迎え4月からは小学一年生になります。前回は息子の事を書きましたが大好きなので今回も(笑)。先月家族で和歌山県西牟婁郡白浜町にある「白浜エネルギーランド」に行きました。そこは人と自然のエネルギーについて楽しく遊びながら学べるアミューズメントスポットで、人間の認識、錯覚やバランス感覚などを巧みに利用し異次元空間体験ができるミステリーゾーン、パラレルワールドなどがあり幼稚園位の子供と遊ぶのにはとても楽しい体験型の乗り物がたくさんある所です。その中でも恐竜が3Dで出てくるアトラクションがあり面白かったです。館内に入ると最初に特殊なメガネを渡されそれを付けて暗闇の部屋に入ると始まるのですが…360度見渡す所すべてに映像が映し出され、目の前で遊ぶ子供恐竜や噛み合いをする大人恐竜、結構なクオリティで泣いてしまっただけの子供がいたり。息子はというと恐竜が本当にいるみたいに手で触ろうとしたり、ジャンプ？してみたり色々な事を試しに遊んでいました。その他、休憩やランチできる展望室からは南紀白浜(白良浜)の美しい砂浜と海も一望できたりとても素晴らしい場所でしたので和歌山へ行かれた際は是非お立ち寄り下さい。

営業：箕輪



底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 関西支店
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階
TEL: 06-4706-0040 FAX: 06-4706-0045

底地くん

